2019 年 **7** 月 **11** 日

キヤノンメディカル、ファインデックスとの連携ソリューションの開発を推進

キヤノンメディカルシステムズ株式会社（以下 キヤノンメディカル）と、株式会社ファインデックス（以下 ファインデックス）は、両社の技術連携により、キヤノンメディカルの持つさまざまな診療データを表示・利活用する医療情報統合ビューア「Abierto Cockpit」と、ファインデックスの画像ファイリングシステム「Claio」および文書ソリューションを連携させ、真に診療の現場で役立つ、医療従事者のためのソリューションの開発を推進していく。

キヤノンメディカルが 2018 年に発売した「Abierto シリーズ」は、DICOM 画像や電子カルテデータなどの診療情報を医療情報統合管理システム「Abierto VNA」で統合し、それらのデータを「Abierto Cockpit」上で一つの画面上に時系列で表示する商品となる。
ファインデックスの画像ファイリングシステム「Claio」及び文書ソリューションは DICOM 以外の画像データの統合管理や、診断書や各科検査レポート等の様々な院内文書の作成・管理が行えるため、院内業務の効率化を推進している。

両社の技術連携により、キヤノンメディカルの「Abierto Cockpit」上でファインデックスの文書や画像データが連動するソリューションが実現する。例えばがん治療に必要とされている「キャンサーボード」など、診断やカンファレンスに必要なデータを一覧するためのソリューションに応用可能となる。

キヤノンメディカルの「Abierto シリーズ」は最新テクノロジーにより、オープンな環境のもと標準のプラットフォーム上でマルチベンダによる医療情報の収集・統合・解析・可視化を実現し、今後も AI 解析などの多彩なアプリケーションと連動することで、より質の高い、効率的な各種診療支援ソリューションを実現し、医療の現場に貢献していく。

以上